

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材(42483002)
(歯科用充填・修復材補助器具(38782000))

ジーシー G-ボンド プラス

再使用禁止：ユニドース、ジーシー ディスポーザブルアプリケーションターⅡ

【禁忌・禁止】

- ・メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止（ユニドース、ジーシー ディスポーザブルアプリケーションターⅡ）
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状	組成等
ボトル：液（5 mL） ユニドース：液（0.1 mL）	水、4-メタクリロキシエチルトリメリット酸、メタクリル酸エステル、アセトン
付属品	ジーシー ディスポーザブルアプリケーションターⅡ ディスポディッシュ

原理

G-ボンド プラスによって歯質を脱灰すると同時にモノマー成分が浸透し、その後、光重合することによってモノマー成分が重合し、歯質と接着する。*

【使用目的又は効果】

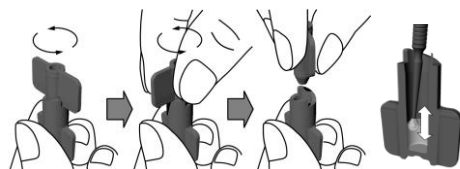
歯科充填用コンポジットレジンと歯質との接着に用いる。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、留意して使用すること。〔歯質と十分な接着力が得られない場合がある〕
- 2) 光照射（照射時間・光強度）が不十分な場合には、接着力が低下するので注意すること。また、窩洞が深い場合など照射口がボンディング材塗布面に近づけられない場合には、【使用方法等】に記載されている窩洞が深い場合を参照して光照射を行うこと。
- 3) 使用する歯科充填用コンポジットレジンの実用硬化深度以上の充填厚では、接着力が低下するので注意すること。

【使用方法等】

- 1) 通法に従い、窩洞形成を行います。
- 2) エアにより、歯面を乾燥します。
- 3) 露髄部分や歯髄に著しく近接した場合には、通法に従って、水酸化カルシウム製剤などで覆髄処置を行います。
- 4) 採取、塗布、乾燥
 - (a) ボトルの場合
容器を軽く振った後、清浄な採取皿に滴下し、ジーシー ディスポーザブルアプリケーションターⅡで歯面に塗布します。10 秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで揮発成分を除去するとともに本品を薄く伸ばします。（本品は、エナメル質及び象牙質に対して十分な接着力を有していますが、エナメル質への接着を重視する症例では、歯科用エッチング材（ジーシー エッチャントなど）処理、水洗、乾燥を行ってから、本品を使用することをお勧めします。また、非切削エナメル質に対しては、必ず歯科用エッチング材（ジーシー エッチャントなど）処理を行います。）
 - (b) ユニドースの場合
ユニドースのキャップに記載の「TOP」を上に向けた状態で、回転方向を示す矢印（反時計方向）に従って開栓します。



ジーシー ディスポーザブルアプリケーションターⅡを用いて、ユニドースの底の液と内壁に付着している液を 2 秒間程度かき混ぜた後、歯面に塗布します。10 秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで揮発成分を除去するとともに本品を薄く伸ばします。（本品は、エナメル質及び象牙質に対して十分な接着力を有していますが、エナメル質への接着を重視する症例では、歯科用エッチング材（ジーシー エッチャントなど）処理、水洗、乾燥を行ってから、本品を使用することをお勧めします。また、非切削エナメル質に対しては、必ず歯科用エッチング材（ジーシー エッチャントなど）処理を行います。）

- 5) 歯科重合用光照射器で光照射します。*

コービー※1	10 秒（窩洞が深い場合：20 秒以上）
G-ライト※2	5 秒（窩洞が深い場合：10 秒以上）
G-ライト プリマⅡ Plus※2	5 秒（F5 モード） （窩洞が深い場合：10 秒（10 モード））
LED照射器※3	10 秒（窩洞が深い場合：20 秒以上）
スリムライト※4	5 秒（Ramp up モード）* （窩洞が深い場合：10 秒（Low モード））*

※1：コービー：

ハロゲンランプを採用した歯科重合用光照射器。

※2：G-ライト/G-ライト プリマⅡ Plus：*

青色LED及び紫色LEDを採用した歯科重合用光照射器。

※3：LED照射器：

他社のLEDを採用した歯科重合用光照射器、460～480 nmの波長をカバーしており、光出力が450 mW/cm²以上のもの。*

※4：スリムライト：*

青色LED及び紫色LEDを採用した歯科重合用光照射器

- 6) 光重合型の歯科充填用コンポジットレジン、その使用方法に従い充填・形成し、歯科重合用光照射器で硬化させます。*
- 7) 通法に従い、形態修正及び研磨を行います。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 1) 本品は、しばらく静置しておくとフィラーが沈降している場合があるので、ボトルの場合、ボトルを軽く振ってから採取すること。ユニドースの場合、ジーシー ディスポーザブルアプリケーションターⅡ等で、ユニドースチップの底の液と内壁に付着している液をかき混ぜてから歯面に塗布すること。
- 2) ユニドースを開栓する際は、容器の上下を確認してから開栓すること。
- 3) ユニドースの開栓が固く開けにくい場合には、無理な力を加えず、別のユニドースを使用すること。
- 4) 揮発成分を含むことから、ボトルの場合、塗布直前に採取皿等に採取すること。（採取後は2分以内に塗布すること。付属のディスポディッシュ以外の採取皿を使用する場合は、採取後1分以内に塗布すること。）ユニドースの場合、塗布直前にユニドースを開栓すること。（開栓後は3分以内に塗布すること。）
- 5) 万一本品を塗布後、水洗してしまったり、唾液がついてしまった場合には、再度水洗から処理を行うこと。
- 6) エアーシリンジ等を使用して歯面の乾燥及び本品塗布面のエアブローを行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。
- 7) 本品塗布面のエアブローが不十分な場合には、十分な接着力が発揮されないことがあるので注意すること。
- 8) エアーブロー時は、歯肉溝や接触点部に液溜りがないように、強圧で充分に行うこと。

【使用上の注意】

1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。

2) 重要な基本的注意

- ①本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- ②本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で良く拭き取ること。
- ③本品が衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
- ④本品の蒸気を多量に吸入すると頭痛等が発症する恐れがあるので、使用する際は適切な換気（1時間あたり数回の換気）がなされている場所で使用すること。また本品の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移動すること。
- ⑤揮発成分を含有するため、適用時は鼻呼吸するように患者に指導すること。
- ⑥本品が、口腔粘膜、皮膚などに付着しないように充分注意すること。歯肉、口唇など粘膜面に付着すると炎症（白変、水疱など）を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること。（ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします。）口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球などで拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また、皮膚に付着した場合には、すぐに石鹸で洗浄すること。万一、目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。
- ⑦本品が、患部以外の部位に付着しないように充分注意すること。歯牙に厚く付着したまま重合すると除去がしにくくなるので、光照射の前に綿球で拭き取ること。また、本品が歯肉、口唇など粘膜面に付着すると炎症（白変、水疱など）を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること。（ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします。）万一、歯肉などに付着した場合には、すぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。炎症（白変、水疱など）が生じた場合でも、これは一過性の現象であり短期間（1～2週間）で回復することから、炎症（白変、水疱など）を起こした部位にはブラッシングなどの物理的刺激を与えないように患者へ説明を行うこと。
- ⑧本品の誤飲には充分注意すること。
- ⑨揮発成分を含むことから、ボトルの場合、使用後は速やかに密栓すること。ユニドースの場合、一度緩めたキャップを再度閉めても気密性を確保できない場合があるので、再保管、再使用しないこと。
- ⑩ボトルのノズルに液が付着した場合、拭き取ってからキャップを装着すること。また、ノズルが破損する場合があるのでキャップ装着時はまっすぐに装着してから締めること。
- ⑪本品は無影灯の光により硬化することがあるので、無影灯下に置かないこと。
- ⑫光照射の際は、保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。
- ⑬光硬化性、接着性は歯科重合用光照射器の照射能力に依存することから、ランプの劣化、ファイバーロッドの汚れに注意すること。*
- ⑭他の製品と混用しないこと。
- ⑮本品は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑯本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑰本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。（自己認証による）**

3) 相互作用

（1）[併用禁忌]（使用しないこと）

- ①ユージノール系製剤は、本品の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。

（2）[併用注意]（使用に注意すること）

- ①仮封材、暫間補綴物等を使用した場合は、仮封材、仮着材が接着面に残留すると十分な接着力が得られないので、超音波スケーラー等を使用して確実に除去し、十分に洗浄すること。

4) 不具合・有害事象

[有害事象]

（1）その他の有害事象

- ①本品の口腔粘膜などへの付着により、白変、発赤、びらん、水疱などの過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本品は冷暗所に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- ・使用及び保管場所には、消火装置を備える。
- ・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

[有効期限]

本品は、包装に記載の使用期限*までに使用する。

※（例 EXP. 2027-02 は
使用期限2027年 2月 を示す。）

[廃棄方法]

- ・本品は引火性を有することから、使い切ってから廃棄する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシー

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号 : （お客様窓口）0120-416480